

平成29年5月吉日

日本赤十字社臨床工学技士会  
会員各位

「会長退任にあたって」

日本赤十字社臨床工学技士会  
監事 熊谷 誠  
(秋田赤十字病院)

拝啓 初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私はこのたび4月の熊本で開催されました定期総会をもちまして、日本赤十字社臨床工学技士会会長を退任いたしました。

思いおこせば、初代齋藤会長の後を引き継いだ3期6年でしたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島原子力発電所による予想もできない被害の大きさに心が痛み、さらに2016年熊本地震の二度の大地震を経験することになり、技士会の一大イベントである全国研修会・定期総会の中止や変更について、役員一同メールや電話で相談があったことが、昨日のように鮮明に思い出します。このことから、人と人とのつながりである絆を大切にしていくことの大切さを再認識させて頂きました。

また、会長就任時には当時技士会にとって懸案であった、①各施設において技士の独立した部門を進める、②臨床工学技士にも技師長職を認めてもらう、③本社との連携を進めることを目標に掲げて活動した結果、役員の皆様の協力の下、何とか達成することができましたことで、達成感からここが潮時、次へのバトンタッチの時期だなと感じた次第です。

さて、新会長となった脇田会長ですが、皆様すでにご存じの方が多いと思いますが、顔は少々強面ですが気持ちはとても暖かく、本社との太いパイプもあり、行動力、決断力、調整力が卓越した誰もが認める方です。日本赤十字社臨床工学技士会を更に充実した会へと導いてくれることを確信しておりますし、大変期待をしております。

会長を退いた後は、定年までの残り3年をのんびりと迎えようと思っておりましたが、脇田会長より役員選挙で1名欠員のある監事を務めるように依頼がありましたので、1期だけでも脇田会長を少しでも支え協力できることを嬉しく思い引き受けることに致しました。

結びにあたり、皆様のますますのご健勝を祈念し退任にあたってのお礼の挨拶といたします。ありがとうございました。

敬具